

成美小だより

☆第54号☆
2023年 2月14日

☆ 第3回学校運営協議会を開催しました ☆

2月9日（木）に第3回学校運営協議会を開催しました。本年度は委員の皆様協議会以外にも子どもたちの様子を観ていただくために学校公開デーに来校いただき、授業参観もしていただきました。今回は主に教育活動アンケートの集約結果をもとに、本年度の成果と課題について委員の皆様から多くの意見をいただきました。いただいた貴重なご意見を来年度の学校運営に活かしていきたいと思っております。



【各委員よりいただいた主なご意見】

★児童アンケート「楽しく学校生活を過ごしている」の項目の肯定的評価が上がっていることが大変評価できる。また肯定的評価ができなかった18人に着目している受けとめ方が学校としてとても重要。この取組を進めていただきたい。

★児童アンケート「すすんで読書」については、どの学校でも肯定的評価が落ちてきている。朝読書の取組があるからまだ維持できているのではないだろうか。読書は全ての学力に関わる力を育てるので、今後も取り組んでほしい。

★児童アンケート「楽しく学校生活を過ごしている」の項目の肯定的評価をした子どもたちには色々な要因があると思う。そのひとつが授業改善。学校の中で一番多くの時間を過ごすのが授業。子どもたちが日々の授業が楽しいと思えるよう、今後も授業改善に取り組んでほしい。またこれからは、「学び合う」「学びを深める」ことが重要になってくるので、対話的に学び合うことを授業の楽しさに繋げていってほしい。

★児童アンケート「楽しく学校生活を過ごしている」の項目について、是非残りの18人の子どもたちに学校の楽しさを味わわせてほしい。

★「地域学習、出会い学習」に関する肯定的評価が上がっているのは、コロナ禍の中、学校が色々と工夫をして地域学習や出会い学習を進めてもらった結果だと思う。今後もこのような教育を推進してほしい。

★12月以降、成美小だよりの一番上に学校教育目標が掲げられているようになったので、私も意識できるようになった。

★児童アンケート「進んで考えたり、話し合ったりする」について、今年度は授業参観などで子どもたちの様子を観る機会が多かったが、子どもたちは一生懸命学習に取り組んでいる姿が印象的だった。タブレットの活用など、先生方がコロナ禍の中、大変工夫をしてもらっていると感じている。

（裏面に続く）

★この 3 年間でコロナの影響で運動会など多くの行事が中止や縮小となってきた。この状況が当たり前として定着するのではなく、できる範囲で今後の行事の見直しを行っていただきたい。

★今後はマスクの着脱が、仲間づくりに影響することもある。マスクをしている子にレッテルが貼られるようなことのないよう、クラスづくりの視点としてほしい。

★あいさつは家庭の影響が大きいと思う。家庭との連携をさらに深めてほしい。

★自発的にあいさつをしてくれる子が多い。特に女子。大人から積極的にあいさつをしていくことも大事だと感じている。地域や保護者が積極的にあいさつを行えば、子どもたちにその姿はうつっていく。大人の責任として、しっかりとあいさつを広めていきたい。

★あいさつができない年頃の子もいる。その心情も察して、子ども第一に考えながら進めてほしい。

★来年度はアフターコロナを見据えながら、今までの 3 年間と同じ 1 年間にはならない。コロナの状況に注視しながら、さらに様々な子どもの 1 人ひとりの心情を大切にした教育を再構築して行ってほしい。